

		大連海務協會		中山海士學校		香高航海學校		小野謙太郎		村上海事務所		大鐵機關士養成所		計	
本年度養成員 トナリタル者 合	水夫 火夫	一六	一六	一五	一五	一四	一四	一三	一三	二一	二一	一七	一七	八〇	一六
父		五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一
母		三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
妻		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
子		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
孫		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計		八〇	八〇	七九	七九	七四	七四	七一	七一	六三	六三	五九	五九	五三	五三
		80%	80%	79%	79%	74%	74%	71%	71%	63%	63%	59%	59%	53%	53%
		1.21%	1.21%	1.18%	1.18%	1.15%	1.15%	1.13%	1.13%	1.12%	1.12%	1.10%	1.10%	1.08%	1.08%
		1.784	1.784	1.754	1.754	1.724	1.724	1.704	1.704	1.674	1.674	1.642	1.642	1.609	1.609
		607	607	604	604	601	601	598	598	590	590	582	582	571	571
		1.542	1.542	1.512	1.512	1.482	1.482	1.452	1.452	1.422	1.422	1.392	1.392	1.359	1.359
		1.860	1.860	1.830	1.830	1.800	1.800	1.770	1.770	1.740	1.740	1.710	1.710	1.678	1.678
		73	73	70	70	67	67	64	64	61	61	58	58	55	55
		2.368	2.368	2.338	2.338	2.308	2.308	2.278	2.278	2.248	2.248	2.218	2.218	2.188	2.188
		43	43	40	40	37	37	34	34	31	31	28	28	25	25
		284	284	254	254	224	224	204	204	174	174	144	144	114	114
		765	765	735	735	705	705	675	675	645	645	615	615	585	585
		463	463	433	433	403	403	373	373	343	343	313	313	283	283
		612	612	582	582	552	552	522	522	492	492	462	462	432	432
		9	9	8	8	7	7	6	6	5	5	4	4	3	3
		12,466	12,466	12,166	12,166	11,866	11,866	11,566	11,566	11,266	11,266	10,966	10,966	10,666	10,666
		31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
		537	537	537	537	537	537	537	537	537	537	537	537	537	537
		716	716	716	716	716	716	716	716	716	716	716	716	716	716
		1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142	1,142
		3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207	3,207
		159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159

(四) 下級海技免狀受有者及び下級船員の養成

以上に表示したる各養成所は主として甲種免狀(機關長及び一等機關士を含む)受有者たるべき者を養成するものにして乙種以下の中級免狀及び下級船員の養成は現在甚だ不備なり。之れ(一)是等船員の養成は學術よりも海上の實地経験に重きを置く結果學校等を必要とせざること、(二)假令陸上教育の必要ありとするも短期簡易の講習を以て足れりと爲すこと等の理由に依るべきが實際今日に於ては下級免狀希望者は或は私立養成所に入りて相當期間修學する者ありと雖も多く一地方の志望者一團と爲りて講師を聘し短期

の講習會を構し其の期充つるや臨時試験を申請し之を受有するに至るを常とする唯是等の場合地方有力者若

は郡町村が之に關する援助を與へ若は之を主唱するに止まる如し。

下級船員の養成所として日本海員被濟會あり。但し之れとても別に教育設備を整へて養成するものに非ずして單に海員希望者を收容し之を船舶に紹介供給して實地作業を見習はしめ漸次水夫、火夫として進級するものなり。今左に同會の養成状況を示せば左の如し。

養成員を養成したる被濟會出張所別表 (大正五年度)

科目	所名	養成員を養成したる被濟會出張所別表 (大正五年度)															
		横濱	大阪	神戶函館	長崎	門司	小樽	國後丸	豐橋丸	海少	貢年	合	計前年	成績	増減	較	
現	在	員	未	水夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	
前	年	度	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
本	年	度	養成員	トナリタル者	合	水夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫	火夫
						一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
						五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
						四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
						三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
						二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
						一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

即ち大體一箇年に四千人内外を養成し得るものと見て差支なかるべし。

然れ共右被濟會の養成したる下級船員は主として郵船會社、商船會社等の所謂社船に供給せらるゝものにして一般船舶の需要を充すに足らず其の不足分は各地海港場に於ける船員^{レジ}宿業者が海員希望者を直接各船に紹介供給し見習員として各自に修業するの現状に在り。